

平成 22 年度事業報告及び収支決算について

1 平成 22 年度事業報告について

第 27 事業年度

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

当財団は、県内企業の総合的支援機関として、新産業創出や経営革新への支援、産業技術の高度化や科学技術の振興、産学官の共同開発研究への支援などに取り組んでいる。

平成 22 年度は、県の経済戦略に呼応して、「かがわ中小企業応援ファンド事業」に、新分野等チャレンジ支援事業、食品産業総合支援事業、ものづくり基盤技術産業総合支援事業などを創設し、中小企業者等に助成を行うなど支援を行った。また、最終年度を迎える文部科学省の地域イノベーションクラスタープログラムなどを活用した「糖質バイオクラスター形成事業」に取り組み、研究開発の深化や事業化の推進に取り組んだ。さらに、高温高压流体技術研究所を地域共同研究部に改め、社会的課題を踏まえた研究テーマに絞った地域共同研究開発事業を実施した。新事業創出等支援事業については、従来からの事業に加え、四国経済産業局から委託を受け、高松商工会議所及び香川県商工会連合会とのコンソーシアム形式で「かがわ中小企業応援センター」を運営し、相談指導等事業の充実を図った。地域食品産業海外展開支援事業では、フランス・パリ市で行われた世界最大規模の食品見本市「SIAL2010」に出展し、県内企業と海外バイヤーとのマッチングを行った。

幅広い分野で各種支援施策を実施した。

I 「一般管理」

決 算 額

1. 一般管理運営事業

257,967千円

財団運営の全般的管理を行うとともに、理事会及び評議員会の開催、基金等運用収入の確保等により財団事業の円滑実施に努めた。

また、県に対し、平成 22 年 12 月 28 日に、公益財団法人の移行認定申請を行い、平成 23 年 3 月 28 日付けで認定を受けた。

[理事会・評議員会の開催状況]

会 の 名 称	開催年月日	開催 場 所	主 要 議 題
第 73 回理事会	22. 5. 27	ルポール讃岐 (讃岐会館)	1 「平成 21 年度事業報告及び収支決算」 2 「平成 22 年度収支補正予算」 3 「評議員選定委員会運営規程の制定」 4 「評議員選定委員会の委員の選任」 5 「評議員の選任」 6 「役員選任」

第 74 回理事会	22. 12. 24	ルポール讃岐 (讃岐会館)	1 「定款変更」 2 「業務方法書の一部改正」 3 「評議員及び役員報酬支給規程の制定等」 4 「委員会委員報酬支給規程の制定」 5 「理事会運営規程の制定」 6 「財務規程の一部改正」 7 「資金運用規程の制定」 8 「公益通報者保護規程の制定」 9 「公益財団法人への移行認定の申請」
第 34 回評議員会	23. 3. 16	香川産業頭脳化 センタービル	1 「平成 22 年度収支補正予算」 2 「平成 23 年度事業計画及び収支予算」 3 「その他」
第 75 回理事会	23. 3. 28	ルポール讃岐 (讃岐会館)	1 「平成 22 年度収支補正予算」 2 「平成 23 年度事業計画及び予算」 3 「諸規程の改正」 4 「役員を選任について」

II 「施設管理」

1. 頭脳化センター等施設提供事業

161,388千円

香川産業頭脳化センタービルの貸室は、創業しようとする者や創業間もない者が入居できる「インキュベータールーム」及び地域産業の高度化に寄与すると認められる企業等が入居できる「リサーチルーム」からなっており、その入居については「香川産業頭脳化センタービル入居者選考委員会」において審議するなど、適切な運営に努めた。

名 称	貸 室 数	入 居 状 況
インキュベータールーム	7 室	25室／34室
リサーチルーム	18 室	

2. IT関連インキュベート施設管理運営事業

7,960千円

ITを活用し新事業に取り組む起業者(ネットベンチャー)等を支援するため、高速通信回線が整備された部屋を低料金で利用できるインキュベート施設「ITスクエア」を香川県の補助を受けて運営した。

名 称	貸 室 数	入 居 状 況
ITスクエア	10 室	10室／11室

3. 県有施設管理運営事業

80,597千円

地域企業の技術の高度化や新分野進出を支援するための県有施設「香川県新規産業創出支援センター(ネクスト香川)」及び先端技術産業分野の研究開発を産学官で行うための拠点施設「香川県科学技術研究センター(FROM香川)」の管理運営を、県から指定管理者の指定を受けて行った。

また、平成23年度から5年間の管理についても、県から指定を受けた。

(1) ネクスト香川インキュベート工房入居状況

11室中4室入居

部屋番号	入居企業名	事業概要	入居年月日
201	プロテノバ(株)	タンパク質及び糖質バイオマーカーの探索と糖タンパク製剤精製デバイスの開発	H17.11.1
202	(株)未来機械	窓清掃ロボット及びメカトロニクス製品の研究開発、製造・販売	H20.10.1
203	(株)東洋発酵	米糠を培養基質として発酵させることで生産される糖脂質を含有する免疫賦活素材の開発	H21.9.1
301	自然免疫応用技研(株)	マクロファージ機能(自然免疫)の解明、機能性糖脂質の応用技術開発と製造・販売及び研究開発成果の技術移転	H18.9.1

(2) ネクスト香川EMC総合試験施設管理運営

EMC総合試験施設使用状況

区分	利用企業数	利用時間(実日数)	
		大型電波暗室	小型電波暗室
県内企業	10社	354時間(43日)	396時間(54日)
県外企業	26社	1,054時間(128日)	871時間(113日)
合計	36社	1,408時間(171日)	1,267時間(167日)

(3) FROM香川研究室管理運営

17室中17室入居

研究室名	研究グループ名 (研究代表/使用責任者)	研究テーマ	入居研究機関	入居年月日
メカトロ研究室	マイクロ加工研究グループ (香川大学 高尾英邦/ 鈴木孝明)	バイオ・光学マイクロデバイスのためのマイクロ/ナノ加工技術の開発	香川大学工学部 香川大学総合生命科学研究センター 徳島文理大学工学部・薬学部 静岡大学電子工学研究所	H20.10.1
一般研究室 (2ab)		バイオ・光学マイクロデバイスに関する評価	アイ電子(株) (株)レガム (株)ユーミック 宝食品(株)	H20.8.1

バイオ研究室	自然免疫グループ (香川大学 杉源一郎/ 自然免疫応用技研(株) 河内千恵)	バイオ技術で生まれ た小麦発酵抽出物を 活用したヘルスケア 製品群の開発	香川大学医学部 自然免疫応用技 研(株) (特活)環瀬戸内 自然免疫ネットワーク	H20. 8. 1
一般研究室 (1 a b)	糖鎖利用診断装置 開発グループ (香川大学 平林淳/ 山田佳太)	糖鎖チップを利用し た輸血副作用防止シ ステムの開発	香川大学総合生 命科学研究センター (株)レクザム	H22. 4. 1
一般研究室 (1 c)	非接触三次元測定器 共同研究グループ (株)未来機械 三宅徹/ 浦治男)	非接触三次元測定器 の研究開発	香川大学工学部 (株)未来機械	H22. 7. 1
一般研究室 (2 c)	かがわeヘルスケア バンク研究会 (香川大学 原量宏/ 同上)	香川県における生涯 健康カルテ (日本版 HER) ネットワーク構 想に関する研究	香川大学瀬戸内 圏研究センター 香川大学医学部 徳島文理大学香 川薬学部 四国電力(株)総合 健康開発センター (株)STNet ネットワークシステムズ(株) (株)キタムラメディカル 日本メディカル(株) (株)ミラ	H21. 9. 1
一般研究室 (3 a)	標準糖鎖供給研究 グループ (香川大学 平林淳/ 住吉涉)	標準糖鎖を安定供給 するシステムの構築	香川大学総合生 命科学実験センター 増田化学工業(株)	H19. 5. 1
一般研究室 (3 b)		糖類デンドリマー作 成法の確立を目指し た開発		H20. 3. 1
一般研究室 (3 c)	標準糖鎖供給研究 グループ (香川大学 平林淳/ 中北慎一)	ネオ糖タンパク質の 合成法の開発		H21. 12. 1
一般研究室 (4 a)	酵素活性評価共同研究 グループ (株)ユニマック 朝山運生/同左)	新規低温乾燥技術を用 いて乾燥した農産物 の酵素活性の評価	香川大学農学部 (株)ユニマック	H21. 3. 1
一般研究室 (4 b)	壁面移動ロボット共同 研究グループ (株)未来機械 三宅徹/ 同上)	吸着自走型壁面移動 ロボットの実用化開 発	香川大学工学部 (株)未来機械	H21. 4. 1
一般研究室 (4 c)				H22. 5. 1

一般研究室 (5 a b)	海洋微生物糖鎖の免疫機能性開発グループ (有)シバイオン 奥谷康一/ 同上)	糖鎖のリンパ球活性化機能を利用した免疫増強剤の開発	香川大学農学部 香川大学総合生命科学実験センター (有)シバイオン (株)ハマダフードシステム (株)シャローネ	H18. 4. 1
一般研究室 (5 c)	バキュロウイルス応用開発研究グループ (株)バキュロテクノロジーズ 馬嶋景/同左)	野蚕昆虫ウイルスによる高効率タンパク質発現系のシステムの研究開発	山口大学農学部 (株)バキュロテクノロジーズ	H18. 7. 1

(4) FROM香川共同機器室等管理運営

①共同機器室・バイオ関連共同実験室利用

名 称	機 器 名	利 用 人 数
共同機器室	走査型プローブ顕微鏡ほか (合計 3 機器)	延 1 8 名
バイオ関連共同実験室	恒温振とう培養装置ほか (合計 1 1 機器)	延 2 4 8 名

②機器利用講習会

共同機器室の利用を促進するため、機器利用講習会を3回開催した。

Ⅲ「新産業創出」

1. 新事業創出等支援事業

92,840千円

県内企業の新事業の創出や経営革新などを積極的に推進するため、本県の中核的支援機関として各支援機関と連携を取りながら、研究開発から事業化、販路開拓に至るまでの総合的な支援を実施した。

(1) 新事業相談指導等事業

専門家による企業相談窓口を常設し、他の支援機関と連携しながらきめ細かな支援を行った。また、四国経済産業局からの委託を受け、地域の支援機関（商工会議所、商工会、金融機関等）の経営支援機能を専門家派遣等によりサポートし、中小企業の高度・専門的な経営課題の解決を図る「かがわ中小企業応援センター」を高松商工会議所及び香川県商工会連合会とのコンソーシアム方式で運営し、相談指導等事業の充実を図った。

相談指導事業	専門家による窓口相談や巡回相談などにより、中小企業の経営力の向上（経営革新・農商工連携・地域資源活用・販路開拓・経営改善等）、創業・再チャレンジ、事業承継等の課題に対する指導助言を行うとともに、企業ニーズの把握や事業化シーズの発掘等に努めた。	891件
専門家派遣事業	「かがわ中小企業応援センター」として、地域の支援機関の要請等に基づき専門家を派遣し、中小企業の高度・専門的な経営課題の解決を図った。	32件
ビジネスクリニック事業	専門家（中小企業診断士等）による簡易経営診断を実施し、経営者の現状把握と経営課題の解決について支援した。	5社
情報提供事業	「かがわ中小企業応援センター」として、中小企業の経営力向上につながるセミナーを開催した <経営力強化実践セミナー> 平成22年10月20日（10人） 香川産業頭脳化センタービル <知的資産経営セミナー> 平成23年2月21日 ホテルニューフロンティア 平成23年3月3日 ホテルニューフロンティア	3回
支援機関連携強化事業	地域の支援機関と連携を図るため、中小企業応援センター連絡協議会を開催した。 ・全体会 平成22年4月27日 財団 ・連絡会 平成22年9月29日 財団 平成22年12月13日 財団 平成23年3月30日 財団	4回

(2) 下請企業振興対策事業

取引情報収集提供事業	下請取引の斡旋 ・受発注取引を希望する登録企業の取引斡旋を行った。	365件
	取引情報の収集提供 ・下請専門調査員が登録企業を訪問し、受発注情報や企業情報等の収集・提供を行った。 ・発注開拓促進会議の開催 県内の発注企業の景況、外注計画等の情報交換を行った。 平成23年2月24日 香川産業頭脳化センタービル（8社参加）	473件 1回

	<p>広域商談会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四国 4 県合同で広域商談会を開催した。 「四国ビジネスマッチング 2010 (緊急広域商談会)」 平成 22 年 10 月 19 日 サンメッセ香川 県内受注企業 63 社参加 ・ 近畿・四国 11 県合同で広域商談会を開催した。 「近畿・四国合同緊急広域商談会」 平成 23 年 2 月 17 日～18 日 京都パルスプラザ (京都府総合見本市会館) 県内受注企業 17 社参加 	2 回
	<p>共同受注推進会議等の開催</p> <p>共同受注の推進や経営基盤向上のための講習会等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共同受注推進講習会 平成 22 年 7 月 23 日 (株)野本精工舎 (18 人参加) ・ 経営基盤向上等推進研究会 (講演会) 平成 22 年 4 月 21 日 ホテルパールガーデン (38 人参加) <p>平成 22 年 10 月 29 日 ホテルパールガーデン (39 人参加)</p>	3 回
下請かけこみ 寺事業	(財) 全国中小企業取引振興協会の実施する「下請かけこみ 寺事業」の地域拠点として、下請取引に関する様々な相談に 対応した。	16 件

(3) 新規創業融資計画作成支援事業

県から委託を受け、香川県中小企業振興資金融資制度のうち、「新規創業融資 (開業プランサポートタイプ)」にかかる融資申込者に対する新規創業計画作成の支援並びに借入希望金融機関及び香川県信用保証協会への当該支援状況等の情報提供等を行った。

新規創業計 画の作成支援	新規創業融資計画作成支援業務担当専門相談 員による新規創業計画作成支援を行った。	相談件数 105 件 計画作成支援件数 15 件
-----------------	---	--------------------------------

(4) 地域食品産業海外展開支援事業

香川県の地場産業の中で重要な位置を占めている食品や食品関連製品の海外販路開拓を支援するため、フランス・パリ市で行われた世界最大規模の食品見本市「SIAL2010」に香川県ブースを出展し、県内企業と海外バイヤーとのマッチングを行った。

○会期：平成 22 年 10 月 17 日～21 日 (5 日間)

○場所：ノール・ヴィルパンテ見本市会場

○展示会概要：

出展者数 5,700 社 来場者数 136,500 人

出展内容 食料、飲料、食品加工品

(香川県ブース) 出展企業数 5 社 商談件数 224 件

(5) 経営診断受託事業

さぬき市からの委託を受け、同市の温泉施設の経営診断等を行った。

(6) 農商工連携コーディネート事業

香川県からの委託を受け、農商工連携の必要性などをPRするセミナーの開催や中小企業者と農林漁業者とのマッチングにより農商工連携事業の推進を図った。また、関係機関との連携により、中小企業者と農林漁業者を結びつけるコーディネート力向上の研修会を開催した。

区 分	内 容 等
農商工連携研修会（コーディネート人材研修）	○開催日 平成22年12月2日、20日 ○開催場所 ホテルパールガーデン ○参加者 国・県・市町・団体等の職員 12月2日 40名 12月20日 39名
かがわ農商工連携スイーツマッチング2011	○開催日 平成23年2月28日 ○開催場所 サンメッセ香川 ○内 容 ①セミナー 講師：イヌイ代表取締役 柿沢直紀氏 ②マッチング参加者 スイーツ店12店 農林漁業者18者

2. 経済研究情報事業

22,652千円

経営・産業関連情報の収集とインターネットや情報誌等を活用した産業情報の提供を行ったほか、人材育成のための新入社員研修を実施した。

また、かがわ産業振興クラブにおいては、講演会や交流会を開催し、会員相互の交流・研究活動の促進・支援に努めた。

(1) 産業情報提供事業

インターネットや情報誌等による産業情報の提供を行った。

内 容	回 数 等
財団ホームページやメールマガジンによる情報発信	常時
情報誌「かがわ産業情報21」の発行	4回

(2) 講習会開催事業

香川の産業高度化を支援するための人材育成事業として、新入社員研修を実施した。

講 習 会 名	開 催 日	参加人数
新入社員研修	平成22年4月5日～6日	44名

(3) かがわ産業振興クラブ運営事業

講演会や企業見学会を開催するとともに、機関誌、メルマガ等により産業情報の提供を行った。

事 業 内 容	開 催 日	参加人数
講演会	平成22年 7月23日	98名
県外企業見学会	平成22年11月10日	47名
県内企業経営者等と知事との意見交換会	平成23年 2月17日	43名

IV 「産業技術高度化」

1. 債務保証・利子補給事業

1, 965千円

(1) 債務保証

研究開発型企業が新技術・新製品の開発及び事業化を行うに際し必要とする資金の円滑な借入れを支援するため、無担保の債務保証を行う事業であるが、22年度は新規に債務保証を希望する企業がなく、既保証案件2件の継続管理を行った。

(2) 利子補給

債務保証事業の適用を受けた借入資金に対し、年2.0%の利子補給を行った。

区 分	件 数	金 額
過年度分 利子補給額	1 件	1 4 4 千円
22年度新規分 利子補給額	0 件	0 円
計	1 件	1 4 4 千円

2. 高度技術開発振興事業

11, 278千円

(1) 研修会等開催支援事業

県内産業の技術の高度化を図るため、学術研究支援や人材・能力育成支援を実施した。

区 分	開催回数	参加者数
学術研究会の開催支援	4 回	7 6 5 名
第18回科学体験フェスティバル (主催：科学体験フェスティバル実行委員会等)	1 回	3, 2 0 0 名

(2) 商品化技術テーマ調査事業

大学・高専・公設試等が保有する技術資源を活用して新たな商品開発を行おうとする県内企業等に対し、商品化・事業化の可能性についての調査研究に要する経費を助成した。

平成21年度採択分【継続5件、助成額1, 153千円】

	研究者	テーマ
1	香川県病院薬剤師会	薬物治療における薬物動態解析に有用かつ簡便なソフトウェアの開発と患者教育用支援システムの開発
2	協同組合中四国環境工法研究会	暗渠水路検査ロボットの振動抑制に関する調査研究
3	株式会社キョーワ	瀬戸内産魚の骨の脆弱化の研究
4	株式会社タダノ	ボルトの緩み検知システムの開発
5	自然免疫応用技研株式会社	パントエア菌糖脂質の植物病害抵抗性増強の実証

(3) 芦原研究支援事業

本県出身の故芦原義重氏（関西電力株名誉会長）からの寄附金をもとに創設した基金（3億円）を活用して次の事業を行った。

①芦原研究開発助成

県内産業の技術の高度化に寄与するため、県内に事業所を有する企業、団体又は個人が大学等学術研究機関や他の企業等と行う共同研究及び自主研究を対象として、実施に要する研究費を助成した。

平成21年度採択分【継続1件、助成額1,000千円】

	研究者	テーマ
1	株式会社四国総合研究所	スラグ類を利用した干潟水域環境改善技術の開発

②芦原科学賞

県内産業の技術の高度化及び産業振興に寄与するため、自然科学系分野において優秀な研究成果をあげた団体（研究グループなど）又は個人の顕彰を行った。

芦原科学大賞（賞状・楯・賞金200万円）	受賞者：(株)四国総合研究所 廣瀬 誠 テーマ：コンクリート柱用鉄筋破断非破壊診断装置（製品名：CPチェッカーM）の開発
芦原科学功労賞（賞状・楯・賞金100万円）	受賞者：小型簡易地盤支持力試験機研究開発グループ テーマ：小型簡易地盤支持力試験機の研究開発（製品名：エレフット）
芦原科学奨励賞（賞状・楯・賞金50万円）	受賞者：(有)アイヴエモーション 廣瀬 将人 テーマ：世界最軽量・高性能折畳み自転車（Folding Bike）の研究開発

(4) 地域技術事業化推進事業

県内中小企業が、技術革新の進展に即応した技術を製品の開発や生産等に活用して事業化を図る取組みを支援するため、今後の有望分野である次世代自動車関連の技術動向に関する情報収集や産学官関係者による意見交換会、電気自動車関連技術セミナーの開催等を行った。

3. 地域共同研究開発事業

56,930千円

県内企業等の独創的な事業活動や技術革新を支援するため、高温高压流体技術等を活用し、研究開発が進められているテーマについて、事業化・商品化を目指して、共同研究開発を行った。

また、受託研究、技術指導実験や研究機器の一般開放による研究支援、企業訪問による技術指導、研究成果発表会の開催等を実施した。

(1) 研究開発事業

企業等との共同開発研究、開発可能性調査研究、受託研究等を推進した。

地域企業共同研究支援事業	1件
共同開発研究	1件
開発可能性調査研究	2件
受託研究	6件

(2) 研究機器の一般開放

物性測定装置及び分析装置などの研究機器を香川大学や企業等に開放した。

(3) 研究成果発表会・特別講演会の開催

平成21年度に実施した研究開発の成果発表会を開催し、研究成果の普及に努めた。

また、高温高压流体技術及びマイクロ波技術などの情報を県内企業に広く提供するため、情報誌の発行や講演会を開催した。

区 分	内 容 等
研究成果発表会 ・特別講演会	<ul style="list-style-type: none"> ○開催日 平成22年6月11日 ○研究成果発表 <ul style="list-style-type: none"> ・バイオマスの水熱処理による可溶化技術に関する研究 ・マイクロ波技術を活用したバイオ燃料の開発 ○特別講演 バイオマスを用いた新エネルギーの製造技術とその普及 京都大学大学院エネルギー科学研究科 教授 坂 志朗 氏 ○技術講演 省エネ、高環境対応技術としてのマイクロ波加熱 日本化学機械製造(株)開発技術室 次長 近田 司 氏 ○参加者数 49名
ニュースレター	2回発行

(4) 22年度研究成果(3月末日現在)

特許出願	1件
特許権取得	4件
特許権等実施契約	1件(継続)

V 「科学技術振興」

1. 科学技術振興事業

28,715千円

(1) 地域イノベーション創出研究開発事業 15,975千円

地域において新産業・新事業を創出し、地域経済の活性化を図るため、産学官の研究開発資源の最適な組み合わせからなる研究体を組織し、最先端の技術シーズをもとに新製品開発を目指す実用化技術の研究開発することを目的とした「地域イノベーション創出研究開発事業」を実施するため、管理法人として四国経済産業局から業務を受託した。

採 択	区 分	テーマ名	研究機関等	受託金額
継続 H21年度～	地域資源 活用型	新規化学法による 希少糖含有異性化 糖の生産技術の開 発	(合)希少糖生産技術研 究所 松谷化学工業(株) 香川大学	15,975千円

(2) 広域的な地域産業活性化活動等支援事業 12,740千円

都道府県を越えた広域的な連携による計画的な地域産業集積の形成及び活性化のための取り組みを支援する「広域的な地域産業活性化活動等支援事業」を四国経済産業局の採択を受けて、隣接する県域の財団法人との連携活動に加え、「微細構造デバイス研究開発フォーラム」、「かがわ糖質バイオフォーラム(研究会)」とも一体的に、セミナー・研究会の開催、見本市等への出展、専門アドバイザー配置、情報発信等の諸事業を実施した。

区 分	内 容	金 額
瀬戸内地域ものづくり 産業活性化活動事業	セミナー開催(LEDセミナー)、見本市 出展(機械要素展、関西機械要素展、ナ ノテク2011)、三洋電機個別商談会、 個別企業調査、個別マッチング等	5,067千円
東四国地域健康バイオ 産業活性化事業	健康バイオセミナー等の研究会10回開 催、見本市出展(食品開発展、FOODEX JAPAN)、個別企業調査等	7,672千円

2. 糖質バイオクラスター形成事業

186,574千円

文部科学省からの助成を受け、当財団が中核機関となって平成20年度から3ヶ年間で実施した地域イノベーションクラスタープログラム(都市エリア型)により、希少糖(D-プシコース)や糖鎖、複合糖質などの特徴ある糖質の機能を生かした機能性食品、スキンケア製品、診断薬、医薬品中間体等に係わる研究開発の深化や事業化の推進に取り組んだ。

また、県から「香川県糖質バイオクラスター形成事業費補助金」の交付を受け、都市エリア型事業を補完する機能性食品開発支援、特許出願支援、情報発信事業等の諸事業を実施したほか、ジェトロ(独立行政法人日本貿易振興機構)の支援を受け、地域間交流支援(RIT)事業により、フランスのバイオクラスターとの交流促進を行うなど、香川県糖質バイオクラスターの形成を促進した。

【事業の概要】

(1) 地域イノベーションクラスタープログラム(都市エリア型)の実施

①当財団(中核機関)の取組

1) 会議等の設置・開催

区分	開催日(場所)	議案	委員構成
事業推進 会議	・平成22年7月27日 (サンメッセ香川)	・平成21年度事業実施報告及び 平成22年度年度計画について	産(8名)、学 (10名)、官(8 名)の委員
	・平成22年11月9日 (ホテルニューフロンティア)	・平成22年度事業及び研究開発 の進捗状況について	
	・平成23年2月22日 (サンメッセ香川)	・3年間の事業及び研究開発と その成果について ・知財の状況について	

区分	開催日（場所）	議案	委員構成
知財推進 会議	・平成 22 年 8 月 18 日 (ネクスト香川)	・平成 21 年度事業実施報告及び 平成 22 年度年度計画について ・特許出願支援事業応募案件の 審査等について	弁理士及び科 学技術コーディネ ーター等の委員(9 名)、オブザーバ ー(1名)
	・平成 22 年 11 月 9 日 (ホテルニューフロンティア)	・平成 22 年度事業及び研究開発 の進捗状況について	
	・平成 22 年 12 月 22 日 (書面開催)	・特許出願支援事業応募案件の 審査等について	
	・平成 23 年 2 月 22 日 (サンメッセ香川)	・3 年間の事業及び研究開発と その成果について ・知財の状況について	
外部評価 委員会	・平成 22 年 12 月 1 日 (リーガホテル高松)	・平成 22 年度の事業及び研究開 発の進捗状況について	外部有識者(8 名)
	・平成 23 年 3 月 3 日 (リーガホテル高松)	・3 年間の事業及び研究開発と その成果について ・知財の状況について	

2) かがわ糖質バイオフィォーラムの運営

糖質バイオ分野の産学官の関係者が広域的な人的ネットワークを構築し、会員相互の交流と研究開発の推進のための情報交換の場として平成 20 年 12 月に設置し、シンポジウムや研究会を開催した。

会員数は、現在、法人会員が 45、個人会員が 20、賛助会員が 9 の合計 74 会員。

■シンポジウムの開催

開催日(場所)	内 容	参加者
平成 22 年 12 月 9 日 (かがわ国際会議場)	かがわ糖質バイオフィォーラム第 3 回シンポジウム ■特別講演 「フランスにおける機能性食品-例として鉄サプリメント」 ブルゴーニュ大学 AgroSup Dijon 校 EMMA 研究ユニット長 教授 Philippe Cayot(フィリップ・カイヨ)氏 ■基調講演 ①「甘味感覚を計測しうる細胞測定系の開発」 東京大学大学院農学生命科学研究科准教授 三坂 巧 氏 ②「糖鎖研究の進展に基づく病態の検出技術の発展と治療 戦略-糖鎖研究による医療のパラダイムシフトをめざして-」 産業技術総合研究所 糖鎖医工学研究センター 分子医用 技術開発チーム長 池原 譲 氏	82 名

■研究会の開催

開催日(場所)	内 容	参加者
平成 22 年 7 月 12 日 (サンポートホール高松)	第 6 回希少糖食品開発研究会 ■話題提供 「ブシコース添加かまぼこの特性」 香川大学農学部教授 小川 雅廣氏 「新しい機能性甘味料の開発」 合同会社希少糖生産技術研究所代表社員 近藤 浩二氏	19 名
平成 22 年 9 月 14 日 (かがわ国際会議場)	希少糖食品開発シンポジウム ■基調講演 「機能性食品の現況と展望」 東京大学大学院農学生命科学研究科教授 清水 誠 氏 「古典発酵発新事業」 福井県立大学生物資源学部教授 宇多川 隆 氏	107 名

	<p>■希少糖食品開発研究発表 「希少糖食品開発の概要」 香川大学農学部教授 早川 茂 氏 「希少糖の健康機能」 香川大学医学部教授 徳田 雅明 氏 「食品における希少糖の動態解析」 香川県産業技術センター主任技師 大島 久華 氏 「希少糖食品開発例その①」 香川大学農学部教授 小川 雅廣 氏 「希少糖食品開発例その②」 香川大学農学部教授 合谷 祥一 氏</p>	
平成 22 年 10 月 26 日 (サンポートホール高松)	<p>第 8 回希少糖食品開発研究会 ■話題提供 「希少糖の食品利用ガイドについて」 香川大学農学部教授 早川 茂 氏</p>	25 名
平成 22 年 11 月 22 日 (サンメッセ香川)	<p>第 2 回機能糖鎖研究会シンポジウム ■研究者講演 「ビフィズス菌のヒトミルクオリゴ糖代謝経路と関連オリゴ糖の生産技術」 食品総合研究所 酵素研究ユニット長 北岡 本光 氏 「セルロースナノビルダーとしての酢酸菌」 九州大学大学院農学研究院教授 近藤 哲男 氏 「環境に調和する複合材料—AII-セルロース複合材料—」 神戸大学大学院工学研究科教授 西野 孝 氏 「アンヒドロフルクトースの工業生産と利用」 日本澱粉工業（株）開発研究部新素材開発グループ マネージャー 吉永 一浩 氏 「ヒト型糖鎖の使い方」 香川大学総合生命科学研究センター准教授 中北 慎一 氏 「シアル酸のプロトタイプとしてのピルビン酸化ガラクトースの機能」 九州大学大学院農学研究院教授 竹川 薫 氏</p>	66 名
平成 23 年 1 月 7 日 (サンポートホール高松)	<p>第 3 回複合糖質研究会シンポジウム ■基調講演 「LPS/LOS の酸性内部コア糖鎖の化学合成：ヒト抗体エピソード解析に向けて」 鳥取大学農学部准教授 一柳 剛 氏 「寒天オリゴ糖研究の現在」 高知工科大学環境理工学群准教授 有賀 修 氏 ■都市エリア型事業研究発表 都市エリア型事業テーマ 2 の 4 名の研究代表者</p>	51 名

3) 研究・事業化—成果報告会の実施

都市エリア型事業が終了するのに際し、これまでの研究開発や事業化の成果等を報告することにより、広く産業界での応用に関心を高めていただくとともに、本エリアでのさらなる産学官連携の推進を目的に開催した。

開催日(場所)	内 容	参加者
平成 23 年 3 月 15 日 (かがわ国際会議場)	<p>■基調講演 「バイオ産業の未来と『さぬき新糖』クラスター」 日経 BP 社医療局主任編集委員 宮田 満 氏</p> <p>■都市エリア型事業研究・事業化報告</p> <p>1) 本事業の報告 事業総括 谷内田 一忠 2) 研究成果発表 研究統括 栗原 正章 香川大学農学部教授 早川 茂 氏 香川大学医学部教授 徳田 雅明 氏 香川大学農学部教授 岡崎 勝一郎 氏 産総研 健康工学研究部門主任研究員 仲山 賢一 氏 東洋大学生命科学部准教授 宮西 伸光 氏 九州大学大学院農学研究院教授 竹川 薫 氏 香川大学総合生命科学センター准教授 中北 慎一 氏 香川大学医学部客員教授 杉 源一郎 氏</p> <p>3) 参画企業等成果発表 松谷化学工業 (株) 常務取締役 大隈 一裕 氏 自然免疫応用技研 (株) 代表取締役 河内 千恵 氏 (株) ピカソ美化学研究所 企画営業部 石崎昭彦 氏 東洋オリーブ (株) 製造部課長 安本 秀幸 氏 宝食品 (株) 代表取締役会長 浅尾 正勝 氏 (同) 希少糖生産技術研究所 代表社員 近藤浩二 氏</p>	144 名

4) 人材育成事業（希少糖講演会）の実施

(同) 希少糖生産技術研究所、(株) レアスウィートが主催する講演会に協力し、県の地域資源である希少糖を広く県民に知っていただくための希少糖講演会を開催した。

開催日(場所)	テーマ	参加者
平成 22 年 10 月 7 日 (観音寺市民会館)	<p>「希少糖とは」 香川大学客員教授・名誉教授 何森 健 氏 「希少糖でより健康な生活を」 香川大学医学部教授 徳田 雅明 氏</p>	46 名
平成 22 年 11 月 27 日 (丸亀市生涯学習センター)	<p>「希少糖とは」 香川大学客員教授・名誉教授 何森 健 氏 「希少糖でより健康な生活を」 香川大学医学部教授 徳田 雅明 氏</p>	26 名
平成 22 年 12 月 16 日 (さぬき市公民館)	<p>「希少糖とは」 香川大学客員教授・名誉教授 何森 健 氏 「希少糖でより健康な生活を」 香川大学医学部教授 徳田 雅明 氏</p>	10 名
平成 23 年 1 月 22 日 (三木町文化交流プラザ)	<p>「希少糖とは」 香川大学特任教授・名誉教授 何森 健 氏 「希少糖でより健康な生活を」 香川大学医学部教授 徳田 雅明 氏</p>	80 名
平成 23 年 2 月 11 日 (香川大学研究交流棟)	<p>「希少糖とは」 香川大学特任教授・名誉教授 何森 健 氏 「希少糖でより健康な生活を」 香川大学医学部教授 徳田 雅明 氏 「希少糖ブシコースを用いた体に優しい食品の開発」 香川大学農学部教授 早川 茂 氏 「希少糖の植物への作用とその応用開発」 香川大学農学部教授 秋光 和也 氏</p>	110 名

②研究開発業務の委託状況

再委託先	研究テーマ	金額
香川大学	1：希少糖（D-プシコース）の生理機能を有する特定保健用食品の開発 2：地域に根付く糖質素材の免疫調節作用を利用した食品等の開発 3：希少糖等を用いた医薬品中間体及び化成品等の原料の開発 4：糖鎖機能を応用した新規腫瘍マーカーの開発	95,960 千円
徳島文理大学	1：希少糖（D-プシコース）の生理機能を有する特定保健用食品の開発	2,500 千円
名城大学	1：希少糖（D-プシコース）の生理機能を有する特定保健用食品の開発	2,800 千円
（独）産業技術総合研究所	2：地域に根付く糖質素材の免疫調節作用を利用した食品等の開発	8,425 千円
香川県産業技術センター	1：希少糖（D-プシコース）の生理機能を有する特定保健用食品の開発 2：地域に根付く糖質素材の免疫調節作用を利用した食品等の開発	6,680 千円
東京海洋大学	2：地域に根付く糖質素材の免疫調節作用を利用した食品等の開発	1,900 千円
九州大学	3：希少糖等を用いた医薬品中間体及び化成品等の原料の開発	8,000 千円
東洋大学	2：地域に根付く糖質素材の免疫調節作用を利用した食品等の開発	7,120 千円
岡山大学	3：希少糖等を用いた医薬品中間体及び化成品等の原料の開発	2,750 千円

2) 香川県糖質バイオクラスター形成事業

① かがわ糖質バイオ発新商品開発支援事業の実施

県内産業の振興と地域経済の活性化を図ることを目的として、糖質バイオ分野の研究成果等を生かして機能性食品等の開発に取り組む企業に対し、必要な研究開発費の一部を補助することにより早期実用化の支援を行った。

a) 機能性食品・医薬部外品開発枠

テ ィ マ	事 業 者	助成額
毎日飲める骨粗鬆症予防飲料の開発	自然免疫応用技研（株）	2,337 千円

b) 新商品開発枠

テ ィ マ	事 業 者	助成額
純度 85%D-プシコース甘味料の開発	（同）希少糖生産技術研究所	2,000 千円
小豆島オリーブセラミドを活用したスキンケア化粧品の開発	東洋オリーブ（株）	693 千円

c) 希少糖入り食品開発枠

テ ィ マ	事 業 者	助成額
液糖を使ったベーグルの開発	マコーズファクトリー（株）	108 千円
希少糖入り佃煮製品（山椒ちりめん、わかめ煮、おじゃこ煮、その他新製品）	（株）木村海産	104 千円
希少糖含有異性化糖を使用した焼き魚	（株）キョーワ	198 千円
黒豆黒豆の煮汁入り蒸しパン及びシフォンケーキ	（有）香川商事	138 千円

② 特許出願支援事業の実施

糖質バイオ分野技術の知的財産化を促進するため、糖質バイオ分野の研究成果を権利化しようとする企業に対し、特許化に必要な経費の一部を補助した。

出願特許の名称	事業者	助成額
磨砕したコンニャク入り食品の製造方法及び磨砕したコンニャク入り食品	ハイスキー食品工業（株）	232 千円
免疫賦活剤	(有) シーバイオン	230 千円
ガレクチン9を分泌する細胞及びその応用技術	(株) ガルファーマ	212 千円

(3) ジェトロ地域間交流支援（RIT）事業の実施

特徴ある糖質（希少糖、糖鎖、複合糖質）の機能性を利用した機能性食品や化粧品、飼料、診断薬等の研究開発を活発に行っている香川県の特色を活かし、これまで交流を進めてきたフランスのローヌアルプス・アルザス地域に加え、平成 22 年度はフランスで機能性食品の開発が進むブルゴーニュ・ノールパドカレー地域にも対象地域を拡大し、これら地域との交流を促進するため、海外出張調査、有識者招聘などジェトロの RIT 事業を活用して実施した。

商談件数	26 件
成約見込件数	2 件
有識者招聘による国内セミナーの開催	(平成 22 年 12 月 9 日開催のかがわ糖質バイオフォーラム第 3 回シンポジウムの特別講演) 82 名参加

(4) 糖質バイオ情報発信

■展示会等での情報発信

- ① 「科学技術フェスタ in 京都」へ出展
期間：平成 22 年 6 月 5 日（土）
場所：国立京都国際会館（京都市左京区宝ヶ池）
- ② 「国際バイオ EXPO」で講演（研究テーマ代表者及び参画企業）、展示（参画企業）
期間：平成 22 年 6 月 30 日（水）～7 月 2 日（金）
場所：東京ビッグサイト
- ③ 「第 1 回千葉・神奈川バイオ産業広域連携事業会員交流商談会」への出展
期間：平成 22 年 8 月 6 日（金）
場所：TKP 品川カンファレンスセンター
- ④ 「四国食品健康フォーラム 2010」でパネル展示
期間：平成 22 年 9 月 1 日（水）
場所：松山市総合コミュニティセンター
- ⑤ 「バイोजアパン 2010」へ出展
期間：平成 22 年 9 月 29 日（水）～10 月 1 日（金）
場所：パシフィコ横浜（横浜市西区みなとみらい）

■情報誌（「かがわ産業情報 21」）等による情報発信

■メディア等での情報発信

- ①「産学官連携ジャーナル」((独) 科学技術振興機構 (JST) 発行)
2010年12月号に、かがわ糖質バイオクラスターの活動状況、研究テーマ、成果等が掲載された。
- ②「地域イノベーションシンポジウム in 札幌」(文部科学省主催)
期間：平成23年1月19日(水)
場所：ACU(札幌市)
内容：フードサイエンス分野の産学官の関係者が一同に介したシンポジウムに、事業総括がパネリストとして参加し、高松地域の紹介を行うとともに、地域が抱える課題解決のための意見交換を行った。

■D-プシコースの広報用マーク、ネーム(愛称)の商標出願と登録

香川発のゼロカロリーで健康的な機能を持つ新甘味料である希少糖 D-プシコースと D-プシコース入り食品のPRと普及を図るため、希少糖 D-プシコースが含まれる商品に表示するマークと愛称(ネーム)を作製し、それぞれ商標出願を行い、正式に商標登録となった。

種 類	経 過	商 標
マーク	平成22年1月27日 特許庁出願 平成22年8月17日 登録査定 平成22年9月3日 商標登録証 登録第 5350576 号	
ネーム	平成22年2月17日 特許庁出願 平成22年12月21日 登録査定 平成23年1月14日 商標登録証 登録第 5383402 号	
マークと ネームの 結合	平成22年6月10日 特許庁出願 平成22年12月21日 登録査定 平成23年1月14日 商標登録証 登録第 5383445 号	

VI 「中小企業経営基盤強化」

1. 中小企業後継者育成事業

3, 610千円

中小企業後継者育成のため、次の事業に対して助成等を行った。

区 分	件数等	金 額
中小企業大学校派遣研修事業(個人)	0人	0千円
先進企業経営技術・研究機関等研修事業(個人)	4人	1, 072千円
香川大学大学院地域マネジメント研究科への派遣研修		
計	4人	1, 072千円

2. 設備資金貸付事業

196, 777千円

小規模企業者等に対し設備導入資金の貸付を行った。

貸付件数	1件
貸付金額	6,700千円

3. 国助成設備貸与事業 83,746千円

過年度貸与（割賦販売及びリース）の回収業務等を行った。

4. 中小企業設備貸与事業 88千円

過年度貸与（割賦販売及びリース）の回収業務等を行った。

5. 創造的中小企業創出支援事業 75,342千円

過年度の間接投資先に対する債権管理業務を行った。

VII. 「かがわ中小企業応援ファンド事業」

かがわ中小企業応援ファンド事業 213,695千円

（独）中小企業基盤整備機構、香川県及び当財団が資金を拠出した総額 118 億円の「かがわ中小企業応援基金」を活用して、中小企業者等に助成を行うなどにより、先端技術産業や地場産業の新たな取り組みなどを支援した。

1. 募集事業の概要

(1) 募集メニュー

- 新分野等チャレンジ支援事業〔新規事業〕
- 先端的技術シーズ実用化支援事業
- 地域企業研究開発小規模助成事業
- 地域企業販路開拓総合支援事業
 - ・地域企業国内販路開拓支援事業（県外見本市出展支援）
 - ・地域企業海外販路開拓支援事業（海外見本市出展支援）
- ものづくり産業スキルアップ助成事業
- ものづくり産業生産性向上支援事業
- 食品産業総合支援事業〔新規事業〕
- ものづくり基盤技術産業総合支援事業〔新規事業〕
- 特定地場産業総合支援事業
 - ・特定地場産業ブランド確立支援事業
 - ・特定地場産業活性化対策事業
- 経営革新支援事業
- 創業ベンチャー・地域密着型ビジネス支援事業（創業ベンチャー・コミュニティビジネス）
- 創業ベンチャー・地域密着型ビジネス支援事業（商店街活性化）

(2) 募集期間

平成21年11月12日（木）～平成21年12月22日（火）

(3) 事業件数

①平成21年度採択・平成22年度実施事業一覧

区 分	件数
特定プロジェクト支援事業	1
先端技術シーズ実用化支援事業	2
産学官共同研究開発推進事業	2
地域企業研究開発小規模助成事業	1
特定地場産業ブランド確立支援事業	1
合 計	7

②平成22年度採択・平成22年度実施事業一覧

区 分	申請件数	採択件数
新分野等チャレンジ支援事業	11	6
先端的技術シーズ実用化支援事業	9	4
地域企業研究開発小規模助成事業	8	3
県外見本市出展支援	32	32 (うち3事業は廃止)
海外見本市出展支援	4	4
ものづくり産業スキルアップ助成事業	1	1
ものづくり産業生産性向上支援事業	7	7
食品産業総合支援事業	5	3 (うち1事業は廃止)
ものづくり基盤技術産業総合支援事業	3	3
特定地場産業ブランド確立支援事業	5	5
特定地場産業活性化対策事業	4	3
経営革新支援事業	2	2 (うち1事業は廃止)
創業ベンチャー・地域密着型ビジネス支援事業	3	3
合 計	94	76

(4) 事業の詳細(順不同、敬称略)

<平成21年度採択・平成22年度実施事業>

①特定プロジェクト(糖質バイオ・ナノテク)支援事業

糖質バイオやナノテク(微細技術)分野の先端技術シーズを活用した研究開発で、新たな事業の展開につながり、県内産業の振興に寄与するもの

【採択1件、助成額7,286千円】

テーマ	事業者
MEMS技術によるSPRの高機能化と特定食物アレルギー検出への応用	株式会社レクザム

②先端技術シーズ実用化支援事業

科学技術基本法に基づき策定された科学技術基本計画が定める重点推進4分野及び推進4分野の先端技術シーズを生かした研究開発又は研究開発要素のある試作などのプロジェクトで、新たな事業の展開につながり、県内産業の振興に寄与するもの

【採択2件、助成額9,079千円】

テーマ	事業者
屋外過酷環境対応型壁面移動ロボットの実用化開発	株式会社未来機械
「撥水テンキーパーAg」塗布技術開発	株式会社丸善

③産学官共同研究開発推進事業

大学や公的試験研究機関等の研究開発の成果や技術シーズ等を活かした新製品の創出や実用化を目的として、産学官による共同研究体制を構築し、研究開発又は研究開発要素のある試作などを行うプロジェクトで、新たな事業の展開につながり、県内産業の振興に寄与するもの

【採択2件、助成額6,165千円】

テーマ	事業者
光センサー用の長尺多点FBGの開発	伸興電線株式会社
自動薬剤管理システムの研究開発	宝田電産株式会社

④地域企業研究開発小規模助成事業（地域資源活用枠）

県が基本構想で指定した、うどん、オリーブ、手袋、漆器など本県の強みである118品目の地域資源を活用した新製品づくり等を支援するもの

【採択1件、助成額320千円】

テーマ	事業者
石材加工石粉の土木建設素材への活用研究事業	有限会社高橋石材

⑤特定地場産業総合支援事業（特定地場産業ブランド確立支援事業）

地場産業組合等が実施する新製品のデザイン開発等を支援するもの

【採択1件、助成額1,110千円】

テーマ	事業者
レガン手袋新ブランド確立事業	株式会社レガン

<平成22年度採択・平成22年度実施事業>

①新分野等チャレンジ支援事業〔新規事業〕

県内中小企業者等の取り組む、以下のチャレンジ事業に対して助成を行うもの

- ①新分野進出のための商品・技術の開発
- ②市場性を見極めるための試作品作成
- ③付加価値の高い新製品開発のための実証試験
- ④新事業の可能性評価
- ⑤技術課題の解決

【採択6件、助成額4,788千円】

テーマ	事業者
ポリフェノールを含有した石鹸の試作	(株)小豆島クリーンサービス
小豆島産オリーブ加工品の商品開発ならびに販路開拓	(株)高橋商店
湿式仕上げ用防水シートの開発	七王工業(株)
5軸加工機能力を最大限に活用するシステムの開発と試作	(有)東山鐵工所
マイクロテーパー微細孔の加工技術	(株)福田高周波工業所
対薬品性を重視した新材料のマグネットバー	吉田技工(有)

②先端技術シーズ実用化支援事業

先端技術分野の新技术シーズや大学、公設試験研究機関等の研究開発の成果や技術シーズを活用した製品の実用化のための研究開発に取り組む企業を支援するもの

【採択4件、助成額28,958千円】

テーマ	事業者
CO ₂ 削減のための次世代下水処理装置の研究開発	(株)石垣
廃棄うどんを原料としたバイオエタノール生産技術の開発	(株)ちよだ製作所
イオン液体技術を応用した、新規糖尿病治療貼付剤の開発	(株)メドレックス
糖鎖チップを利用した輸血副作用防止システムの開発	(株)レクザム

③地域企業研究開発小規模助成事業

【独創的・産業財産権活用型研究枠】

県内中小企業者等が行う独創的な研究開発や、特許権、実用新案権、意匠権を活用した実用化等を助成し、付加価値の高い新製品の開発を応援するものに助成を行うもの

【地域資源活用枠】

県が基本構想で指定した、うどん、オリーブ、手袋、漆器など本県の強みである145品目の地域資源を活用した新製品づくり等を行う県内中小企業者等を支援するもの

【採択3件、助成額5,902千円】

テーマ	事業者
軽量省エネ耐震乾式本葺瓦の開発	(株)請川窯業
各種スポーツ競技に最適の動きが出来る手袋の開発	松岡手袋(株)
生パスタ麺および醤油を活用したパスタソースの研究開発	(株)山田家物流

④地域企業海外販路開拓支援事業

県内中小企業者等に対して、海外で開催される見本市への出展を支援するもの

【採択4件、助成額2,614千円】

テーマ	事業者
第4回上海国際ギフト展（中国・上海）	(有) アクティブ
インターテキスタイル上海アパレルファブリックス（中国・上海）	カンプラ工業(株)
HKTDC フード・エキスポ2010（中国・香港）	創麺屋(株)
Natural Products Expo East（アメリカ・ボストン）	ツェルゴン・ジャパン(株)

⑤ものづくり産業スキルアップ助成事業

ものづくり産業人材の育成を図るため、製造に携わる者を対象とした、製造技術・技能の向上に資するものであって、県内中小企業者等が実施する人材育成研修会開催事業（自ら開催する人材育成研修）や人材育成研修派遣事業（人材育成を目的に開催される研修会へ職員等を派遣）に助成を行うもの

【採択1件、助成額300千円】

テーマ	事業者
石材ケア工事及びクリーニング技術加工及び情報取得研修	(株)E B i S U

⑥ものづくり産業生産性向上支援事業

県内中小企業者等が、製造現場におけるコスト削減等を目的として、専門コンサルタントの活用により、製造現場の改善を行う事業や、それに付随して行う研修事業に助成を行うもの

【採択7件、助成額16,354千円】

テーマ	事業者
生産革新プログラムによる創造的な製造業態の確立	一光電機(株)
工場内設備、環境改善により生産性向上を目指そう	(株)金子食品
香川県の地場産業である「手袋」の新世代ニーズに対応する生産システムの再構築	サングローブ(株)
材料費削減及び品質向上により収益の最大化を目指す	(株)スマイル
生産現場におけるムダコストの削減(不良・納期遅延余剰在庫損失の低減)	丸富士産業(株)
5S・見える化・報連相の推進を中心にコスト削減の取り組み	マルワ製袋(株)
「儲かる工場」づくりを目指した製造現場コストダウン	(株)ユーミック

⑦食品産業総合支援事業〔新規事業〕

県内食品産業を育成するため、食品産業に対し、社会環境の変化等に対応した新商品開発などに必要な経費を助成するとともに、支援チームを設置し研究開発や販路開拓な

どに関して助言を行うなど、総合的な支援を行うもの

【採択3件（うち1件は事業廃止）、助成額9,947千円】

テーマ	事業者
瀬戸内の魚介類を使った調理食品の研究開発及びブランドマーケティング事業	(株)キングフーズ
食品素材用コンニャクの製法および利用食品の開発・販路開拓事業	ハイスキー食品工業(株)

⑧ものづくり基盤技術産業総合支援事業 [新規事業]

県内ものづくり基盤技術産業を牽引する企業を育成するため、ものづくり基盤技術産業の各企業が取り組む社会環境の変化等に対応した新商品開発などに必要な経費を助成するとともに、支援チームを設置し研究開発や販路開拓などに関して助言を行うなど、総合的な支援を行うもの

【採択3件、助成額18,172千円】

テーマ	事業者
車両の状態推定システムの開発	鎌長製衡(株)
高速シリアル伝送を実現する画像ボード開発	(株)シーマイクロ
航空宇宙産業に対応する加工技術及び管理システムの開発	(株)プロテック

⑨特定地場産業ブランド確立支援事業

特定地場産業組合等が専門家を活用して実施する市場調査、実施計画の策定、新製品のデザイン開発、情報発信等の事業に対して助成を行うもの

【採択5件、助成額14,683千円】

テーマ	事業者
自社ブランド【エリザベス】の確立	香川シームレス(株)
新ブランド「さぬきざんまい」の構築	さぬきざんまい
「石あかり」・「庵治石産地」のブランディングプロジェクト	讃岐石材加工（協）
高級カシミアニットブランドの構築事業	(有)ファイエット
人間工学にもとづき人に優しく、握りやすく、疲れないスポーツ手袋『エルゴ・グリップ』のブランドイメージの構築	松岡手袋(株)

⑩特定地場産業活性化対策事業

特定地場産業組合等が実施する地場産品等の技術革新事業、経営革新事業、販路拡大事業に助成を行うもの

【採択3件、助成額4,340千円】

テーマ	事業者
庵治石グランドコンペティション2010	協同組合庵治石振興会
丸亀うちわは「環境に優しい」ことPR事業	香川県うちわ協同組合連合会
「香川漆器のある暮らし」お手入れ編 DVD製作	香川県漆器工業協同組合

⑪経営革新支援事業

経営革新のための事業に要する経費を助成することにより、創意工夫ある新事業展開を促進するものに助成を行うもの

【採択2件（うち1件は事業廃止）、助成額1,477千円】

テーマ	事業者
鍛造製品（ウェイトゲートバルブ）へのバニシング工法等適用による生産性向上への取り組み	四国電子(株)

⑫創業ベンチャー・地域密着型ビジネス支援事業

【創業ベンチャー、コミュニティ・ビジネス】

新たな事業への挑戦を支援するため、新規性や独創性のある先駆的な事業やコミュニティ・ビジネスなどの地域に密着した先駆的な事業の開始に要する経費を助成するもの

【採択1件、助成額2,609千円】

テーマ	事業者
自社開発した全国義肢装具企業様向け見積・売上管理パッケージ販路拡大	ケイ・タス(株)

【商店街活性化】

商店街の活性化や販売力強化に向けての新たな取組みに必要な初期段階の経費の一部について助成するもの

【採択2件、助成額2,000千円】

テーマ	事業者
商店街の顧客ターゲットを明確にしたマーケティング調査 空き店舗活用など、商店街の賑わい・魅力向上による顧客誘引のための仕組みづくり	坂出元町名店街商店街振興組合
親子・多世代交流支援事業	高松商工会議所

2. 産業支援機関事業（財団直営事業を含む。）の状況

①職業能力育成支援事業

団体名	実施講座数	受講者数（延べ）
香川県職業能力開発協会	47	698人

②高度技術人材育成事業

区 分	実施講座数	受講者数 (延べ)
I T技術研修	34	632人
次世代技術研修	16	531人
食品製造技術研修	3	49人
環境、安全・安心技術	1	25人

③地域企業国内販路開拓支援事業

事業名	内 容	件数等
県外見本市出展支援	大都市圏で開催される専門見本市に参加する本県企業の出展費用（基本小間料）の一部を財団が負担する支援を行った。 20見本市に29社が参加	29社
ビジネスマーケット（商談会等）	食品商談会 県内外の食品関連のバイヤーを本県に招聘し、県内食品企業等との商談会を開催した。 1) 事前セミナー開催 平成22年7月28日（27名参加） ホテルパールガーデン 平成22年9月10日（25名参加） ホテルパールガーデン 2) 食品商談会 平成22年10月13日 ホテルクレメント高松 招聘バイヤー16社（百貨店、総合スーパー他） 参加企業39社（食品加工業35社、生産者4社） 商談件数168件、商談成立（当日）17件 商談継続122件	3回
食品見本市出展支援事業	香川県食品産業の魅力を発信するとともに、県内食品関連企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連見本市である「スーパーマーケット・トレードショー」において、香川県ブースを出展した。（8小間）	18社
緊急的受注開拓促進事業	県内下請企業の受注開拓や新規取引を促進するため、新たに東京、大阪の県事務所に受注開拓のための発注開拓コーディネーターを置き、首都圏や関西圏の大手発注企業等を訪問し、発注案件情報等を収集した。	204件
次世代有望分野進出支援事業	新たな成長が期待されるエネルギー、ロボット、航空・宇宙の次世代有望ものづくり分野への進出を支援するため、専門アドバイザーを配置した「かがわ次世代ものづくり研究会」を立ち上げ、講演会のほかに進出に必要な知識の修得や技術の高度化、受注活動を目指した講習会や勉強会を行った。	延べ 23回

④地域企業海外販路開拓支援事業

事業名	内容	件数等
国際取引支援アドバイザー設置	国際取引支援アドバイザーを設置し、企業巡回及び相談会の開催等により、県内企業の国際取引に関する相談を実施し、併せて課題・ニーズの把握を行った。	巡回相談10件 個別相談48件
国際取引支援セミナーの開催	セミナー開催を通じて県内企業の国際取引を支援するとともに、国際取引支援機関との連携を図った。	2回実施 ○ 輸出失敗事例から学ぶセミナー（6月17日実施） ○ 欧州セミナー～仏・独の最新経済動向を知る～（6月24日）
輸出商品目利き商談会開催(食品) + 海外物流ネットワーク構築事業(パリ、ロンドンにおける県産食料品の試験販売)	欧州(パリ、ロンドン)から食品関連バイヤーを招へいし、県内産食料品の目利き商談会を行った。この場で選定された商品は、期間限定でそれぞれのバイヤーが所有する現地小売店で試験的に販売。消費者の反応を探るとともに、売れ筋の良かった商品については定番化を図った。	○ EUバイヤー招へい目利き商談会 【パリ】5/27-28(二日間) 【ロンドン】6/23-25(三日間) ○ 試験販売の状況 【パリ】採用商品:8社17品目 販売実績:約283万円 販売期間:9月~2月 【ロンドン】 採用商品:11社31品目 販売実績:約160万円 販売期間:9月~12月

⑤新規発掘・事業化コーディネート事業

専任コーディネーター等を配置し、積極的な中小企業回りを通じて、新たなシーズの発掘や事業化の支援、事業終了後のフォローアップ、成果検証等を行った。

Ⅶ「かがわ農商工連携ファンド事業」

かがわ農商工連携ファンド事業

19,947千円

(独)中小企業基盤整備機構、香川県及び関係団体等が資金を拠出した総額28億円の「かがわ農商工連携基金」を活用して、中小企業者及び農林漁業者の連携体が行う新商品及び新サービスの開発並びに販路開拓事業に対して助成を行うことにより、地域の活性化に取り組んだ。

(1) 概要

①募集対象者

中小企業者と農林漁業者の連携体

②基本的要件

中小企業者と農林漁業者が連携し、互いの経営資源を活用して、当該連携体にとって新しい商品やサービスの開発及び販路開拓の拡大につながることを。

③募集期間

平成22年4月26日(月)~6月4日(金)

④申請件数・採択件数一覧

区 分	申請件数	採択件数
かがわ農商工連携ファンド事業	10	7

(2) 採択事業の詳細（順不同、敬称略）

①平成21年度採択分・平成22年度実施事業【採択4件、助成額7,260千円】

テーマ	事業者	
森のいちごモーイチくんのカキ氷開発	中	有限会社セキフーズ
	農	株式会社森のいちご
「孟宗竹」を活用した乳酸発酵竹粉のペレット化技術の開発	中	株式会社さぬきテクノ
	農	大原 公
香川の気候を利用した「セミドライトマト」の生産・加工・販売	中	株式会社瀬戸の香
	農	まつもと農園
「こんびらにんにく」販売促進ブランド化事業	中	・こんびら温泉旅館ホテル協同組合 ・大庄屋株式会社 ・株式会社高橋商店 ・株式会社フジフーズ
	農	琴平にんにく部会

②平成22年度採択分【採択7件、助成額7,858千円】

テーマ	事業者	
小豆島産オリーブの搾りカスを活用した小豆島オリーブ牛のブランド化	中	東洋オリーブ株式会社
	農	小豆島オリーブ牛研究会
フルーツ王国三豊のフルーツを使った新商品開発	中	マコーズファクトリー株式会社
	農	大地と語り合う会
さぬきファームプロジェクト	中	株式会社四国パソコンシステム
	農	川西農園
四国香川発 雑穀「タカキビ」新品種の開発、加工及び販路開拓	中	中野産業株式会社
	農	農業工房かべっこ
保湿とスキンケアに優れた糖脂質強化機能性オリーブオイル（ザ・パントケア・オリーブオイル）の開発	中	自然免疫制御技術研究組合
	農	小豆島ヘルシーランド株式会社
食品対応用スラリーアイス製造機の開発及び農作物の冷蔵保存方法の確立	中	大和ステンレス工業株式会社
	農	株式会社三豊セゾン
瀬戸内ラスクの開発・製造・販売	中	堤製パン株式会社
	農	猪熊貴志
	農	アグリ・クルー

(3) 農商工連携支援事業

1,576千円

事業主体：財団法人かがわ産業支援財団

事業内容：財団が農商工連携を支援するために実施する事業

農商工連携セミナーの開催、連携体に対する個別巡回指導によるフォローアップ

Ⅸ「その他」

異業種交流等支援

各種団体の事務局として当該団体の活動を支援した。

団体名	団体概要	活動内容
香川マルチメディア ビジネスフォーラム (会員数48)	ITを活用した経営の向上や新たなビジネスの創出を図るとともに、会員企業の交流を促進し、本県産業の振興に寄与することを目的として設立された団体	○講演会 ○見学会 ○総会、交流会 等
香川県デザイン協会 (会員数139)	県内におけるデザイン振興の中核として、優れたデザインが生み出される環境づくりや、産業界等との連携による産業及び地域文化の発展を図るため、県内デザイナー等により設立された団体	○デザイン展覧会 ○デザイナーズ・フリーマーケット ○講演会 ○見学会 ○総会、交流会 ○会報発行 等
J S 研究会 (会員数 38)	県内中小企業の自立化推進や人材育成・経営基盤の強化等を研究するため、産業機械関連分野の中堅企業で組織された団体	○講演会 ○現場実践研修 ○リーダー養成研究 ○見学会 ○総会、交流会
さぬきプラザ 21 (会員数 24)	技術・市場関連の問題等に関する意見・情報の交換により、会員企業の技術及び経営力の向上を図るため、県内企業で構成された異業種交流の団体	○講演会 ○見学会 ○総会、交流会 等
かがわプラザ 2004 (会員数 38)		
香川インテリジェントパーク 交流推進協議会 (会員数 39)	香川インテリジェントパーク(KIP)に立地する企業や団体等の理解、交流及び情報交換を推進し、相互の技術、経営及び学術、文化の向上を図るために設立された団体	○講演会 ○総会、交流会 ○産総研の見学、KIP 内の一斉清掃 ○献血 等

※各事業右記載の金額は、支出総額から、各特定資産振替支出を控除した額である。